

# 那須平成の森だより



第16回 「那須平成の森でのおもてなし」  
〜森カフェで優雅なひとときを〜

〜自分だけの自然に出会う〜

那須平成の森には、国立公園満喫プロジェクトの一環で地域のカフェが outlet しています。 outlet 店者は3人で、今年もスイーツも提供しています。

outlet 店者の皆さんにいくつかの質問を通してその思いを聞きましたので紹介します。

「Cafe La Detente」渡辺実聖さん、「那須コーヒーパルク」大瀧剛さん、「Aki Nakadate Barista」中楯聡さんの3人です。スイーツ提供は、Lovelabo主宰の篠良美さんです。

Q1 outlet した動機は？

渡辺さん…自然の中で仕事ができることに魅力を感じ、自分も楽しめるのではないかと思えました。  
中楯さん…スペシャルコーヒーで「森をカップに表現する」とはバリスタとしての技術と感性を生かす最高の機会だと思いました。

Q2 接客して感じることは？

渡辺さん…お客さまとの会話から学ぶことがたくさんあるので、

とても刺激的です。  
大瀧さん…散策後にコーヒーの香りを楽しみながら、デッキで休憩されるお客さまが多いです。この環境ととても親和性があると感じます。



カフェでくつろぐ来園者

Q3 outlet を通して、ご自身が変わったことはありますか？

渡辺さん…より自然に触れ合おうという意識が生まれたなど思っています。

大瀧さん…静かな場所でお店するの自分に向いていると気がつきました。

Q4 カフェを通して来園者に

伝えたい思いは？

大瀧さん…自然の中でリラックスしてほしいです。コーヒーを味わいながら、日常の疲れを癒してください。

Q5 その他、何でも

篠さん…季節感を大事に、那須の素材を多用して作っています。山を背景にしてコーヒーとお菓子を味わうひとは、どんなカフェよりぜひいたくたと思えます。

カフェは、お客さまにとっても好評です。那須平成の森でしか味わえない特別な時間を、多くの方に体験してほしいと思います。

那須平成の森フィールドセンター  
インタープリター 若林千賀子



母校である県外の大学から、経済的困窮学生への支援のため、大学基金への寄付を募る案内が届いた▼添えられた文書によると、これまで基金は、学生の修学支援、国際交流や研究力の向上、施設・設備の充実などのために使われてきた。しかし今年度は、経済的に困窮する学生に対して、食費や遠隔授業を受け

るための通信費など、生活費等の支援を中心に行うとあった▼アルバイトをしながら生活をしている学生の中には、新型コロナウイルスへの感染に不安を抱えながら働いている学生も多く、また、時短営業によるアルバイト先のシフト減少などにより、困窮する学生も多く見られるという▼町育英会では、経済的理由により修学を断念する学生を出さないため、また修学環境や学生生活の充実のため、令和

4年度の奨学生を募集している。月額や一時金を貸与する無利子の奨学金で、併用もできる。高等学校や大学等に在学中または進学予定の方で、町に6カ月以上居住している方が対象となっている(関連3頁)▼奨学生の募集とあわせて、町では教育費寄付金を募集している。次世代を担う子どもたちの学習環境の整備のため、寄付金についても、ぜひご検討いただけたらと思う。

## こんにちは 赤ちゃん



令和元年11月6日生

高久遥大 くん(漆塚)

父 貴大さん  
母 みどりさん

遥大くんは…

いつもニコニコ♪笑顔が可愛いちょっぴりヤンチャな男の子

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。

詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口 (9月1日現在・住民基本台帳) ( )の数字は前月比

•世帯数 10,519世帯 (-8)  
•人口 24,634人 (-39)  
男 12,251人 (-29)  
女 12,383人 (-10)

出生 8人 ( 0)  
死亡 27人 (- 7)  
転入 49人 (- 2)  
転出 71人 (+23)  
その他 2人